

すぎのこ

142

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 飯能研修センター：〒357-0063 埼玉県飯能市飯能325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
 滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2016 4/1

2面・3面 園からの声／平成28年度「すぎのこ巡回公演」上演地域／人形劇講習会報告 ほか
 4面 新作「ももたろう」／JKA補助事業報告 ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org

巡回公演だより

わらしべ長者 班

菅谷 香純

「わらしべ長者」という作品は、5月から巡回4年目になります。実は私、本班1年目から3年目まで毎年わらしべ長者に関わっています。配役が変わったり、1学期は別の作品だったり毎年同じというわけではないのですが、何かのご縁か、すぎのこに入ってほ「わらしべ長者」しかやっていないのではないかといいほどです(笑)。それだけ長くやっているからということもあるのかもしれませんが、私は「わらしべ長者」がとても好きです。ほのぼのとした感じや人の温かさが伝わる作品だと思

うと思っています。それが不思議とそうでもなく、むしろ新鮮な気持ちになりました。昔は緊張やプレッシャーが強く、頑張つてセリフを言っている感じだったのが、今は自然にスツと出てくるセリフが多くなったのではないかと思います。何より自分が、楽しんで劇をしているという感覚が昔より強いように思います。自分も楽しく、そして少しでも子ども達の心に響いて楽しんでもらえるような、そんな劇にしていけたらと思います。

そっくりのくりのき 班

榎本 均

♪春の風が吹いて来たら、メダカも蝶々も小鳥達も、みんな、みんなうれしそう、春だよ、みんなの春が来たよ〜♪

「そっくりのくりのき」のオープニングの歌です。それに合わせて、緑の丘に一輪、一輪と黄色いタンポポが咲きます。私の一番、好きなシーンです。

子ども達の反応は、100%と言っているほどかたずを呑むように、息をこらすように、じつと無言で観ています。もしかすると、それは自分が生まれた時のことを疑似体験しているのでしょうか。

例えば、道ばたに咲いているタンポポを見て知っているが、咲く瞬間を初めて目にする驚きに似て、生まれた喜びの高揚感、あるいは、いじらしさ、はかなさみたいな様々な気持ちが胸の中にくぐら

でいるのでしょうか。でも、これも大人のセンチメンタルな感情移入でしょう。

東日本大震災を経て、命の大切さ、命のつながりがテーマですが、原作者の「やなせたかし」さんのメッセージのように、「何も、難しいことはなく、ただ楽しんで観ていただきたい」。2年間「そっくりのくりのき」を演じてきて、その言葉が、今、ずっと胸に入っています。そして、子ども達の胸の中に飛び込むだけです。春、また始まりの春、タンポポの綿毛のように、かろやかに旅立とう。

おだんこばん 班

小杉 正繁

4年ぶりの巡回公演に復帰して8か月が過ぎましたが、未だに水を得た魚のように、毎回毎回わくわくどきどきしながら、楽しく素敵な時間を過ごせて幸せです。

卒園間近の季節になるとインフルエンザが流行りだし、マスク着用でみんなの笑顔や表情がわかりづらなのが残念です。劇中で元気な声援を送られると「おだんこばん」や「おおかみ、きつね、うさぎにカモ」達、みんなついつい張り切り過ぎて、先生方から「ちょっとウケ狙い過ぎるのではあります

せんか」とのアンケートが寄せられたり…。帰団後すぐに稽古場で演技を見てもらい、初心に戻り、ついつい流されがちなテーマを、もう一度お互い確認し合いました。これからも、是非是非ご忌憚のない、ご意見ご感想をお聞かせくだされば幸いです。

ほんわか劇場

和田 宣子

上演中に思いがけず、ハプニングが起きることがある。

M幼稚園で上演中、絵話「3びきのこぶた」で、おおかみに追われた兄さんぶた達がレンガの家に逃げ込む場面。いつもならドアのしかけのスリットにうまく隠れるのだが、なぜかきちんと隠れない。おかしい。何度か押し込むが、何度やってもチャリと見えている。全部は隠れてないがこれ以上は：。おおかみを登場させる。いけない！一番下のこぶたさんがまだ家の中に入っていないかった！こぶたさんをあわてて家の中へ：。

すっかり気が動転してしまった私。転換の段取りもいくつかまちがえてしまった。なぜ、こんなことになったのか？絵話の前の人形劇で、新しいことをやって余裕がなかったからかもしれない：。

上演後、悶々としながら荷物を車に積み込んでいたところ、すれ違う先生方が口々に「楽しかったです。ありがとうございました」と声をかけてくれた。一人の男の子が私のそばまで寄ってきて「僕ね、三つ目のお話が楽しかった」と目を輝かせて感想を言ったあと、ちよっと真剣な顔になり大



人びた口調で「ありがとうございました」と言ってくれた。彼の横からにこにこ顔で、「朝、会ったよね」と話しかけてくれた男の子は、私が朝荷物を入れていた時に、「この人だれ？」という表情だった子だ。「あつ人形劇の人！」と手を振ってくれる子ども達。

子ども達や先生方は、失敗したことよりも別の部分を観てくれたのだ。「失敗はしないほうがいい。でもそれを恐れずにやっていこう」と少し勇気が出てきた。

帰り際に「おおかみを応援する子が多くて、最後には静かにしなさいって言っちゃった。私達が子ども達の頃は、こぶたを応援したわよね」とK先生。確かにそうだったと思った。私の演技に、問題はないか：また課題ができた。

ねずみの嫁入り 班

太田 令

「ねずみの嫁入り」という作品は、とりわけ舞台セットが豪華というわけではありません。だからといって、人形が大きくきらびやかなわけでもありません。舞台・人形ともいたってシンプルな作りとなっています。

なので、演者の技量というものが大きく影響してきます。

約10年近く人形劇に携わってきましたが、今回初めてこの作品に挑戦させていただきました。セリフの中には古い言葉が多くあつてなかなか難しく、けれどとてもやりがいと挑戦のしがいのある舞台でした。

実際に子ども達の前で公演しましたが、手ごたえもあり、反応も自分の思っていたより大きなものが返ってきました。日本の古き良き話をとてもよい形で子どもに届



けられたのでは？と、自分の中で大きな自信となり、成長できたと感じています。またいつかこの作品に携わることができるようになれば、舞台や人形が一回りも二回りも大きく見えて、より立派な舞台になるようなものを届けたい、そう思っています。

かもとりごんべえ班

吉田 薫

1月、2月は幼稚園・保育所での公演はもちろん、横浜人形の家や墨田区の文化センターでの劇場公演もありました。先生や子ども達、劇場では親子からご年配の方まで多くの人に観ていただき、いつもと少し違う雰囲気味わうことができました。

この「かもとりごんべえ」という話は、老若男女、誰もが楽しめる物語。ギター之歌も頭上を飛ぶごんべえさんも、一人ひとりが命の大切さを考えることができる内容も、「子どもから大人まで」といううたい文句がぴったり。演じ

みんわまつりを終えて

横浜人形の家との共催事業「みんわまつり」を、横浜市の後援を受け、2月13日(土)・14日(日)の二日間3回の公演を、横浜人形の家「あかいくつ劇場」で開催した。

この事業は「地域の民話を、地域の人達で、地域の子も達に届けよう」とのすぎのこの思いを実現するために企画実施したものである。

事前に、一般社団法人「横浜私立保育園園長会」と、公益社団法人「横浜市幼稚園協会」

の後援を受け、保育園幼稚園の先生達を対象に、横浜人形の家「影絵研修会」を企画し受講者を募り、昨年10月から2月迄の間に、応募者を二コースに分け、昼コース6回、夜コース6回の影絵研修会を開催し、横浜市に古くから伝わる民話「タヌキの夜泣き石」と「ネコのおどり場」を、特訓に特訓を重ね、成果発表するに至った。

夜コースの受講者は保育を終えてから疲れた身体で！

昼コースの受講者は大切な休



る私自身が、この話の奥深さを改めて感じました。

大切にしたい言葉や想い、昔話や物語の伝承。人から人へ、大人から子どもへ。そんな「伝える」ということのプロでありたいと常に思いながら、これからも一公演一公演大事にしていきたいと思っています。

「かもとりごんべえ」の舞台は真冬の沼地。冬の寒さを演じつつ、外では桜の花が咲き始めました。入園、進級した子ども達。私も、春の気配に胸躍る今日この頃です。



わらしべ長者

■ 祇園幼稚園 (広島県広島市)

カバオくんとのかけあいで子ども達の気持ちをつかみ、その後のお話へ：と流れがスムーズでよかったと思います。人形の動きがリアルで、本当に命が吹き込まれたようでした。笑えるところもたくさんあって、役者さん同士の間の取り方もすばらしかったです。

子ども達も部屋に戻ってから「正吉は優しくて、いいことをたくさんしたから幸せになったね」等、感想を言い合っていました。

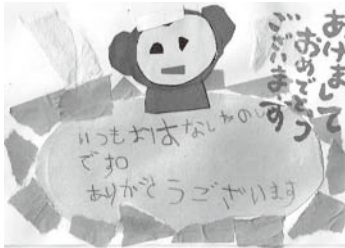
■ 恵城保育園 (香川県丸亀市)

楽しいお話をいつもありがとうございます。一つ一つのシーンでの人形の演じ方、演出の仕方がどれほど子ども達を引きつけるもので、どの子ども目も輝かせながら夢中で観ていました。話の内容もよく理解していたようで、これからのいろいろな作品を見せていきたいと思っています。

保育士にとっても、3人で演じているとは思えないような人形の動きや演出の仕方がとても勉強になり、楽しませてもらいました。



▲ 広島県広島市口田なかよし保育園より



▲ 広島県熊野町石山学園幼稚園より

そつりのひのき

■ 帝京大学幼稚園 (東京都八王子市)
キツネ達の躍動感たっぷり動きやヒラヒラ動く鳥、ブラックライトで光る星など、子ども達が終始釘付けになって観ていました。職員も楽しんで観させていただきました。

■ 羽沢幼稚園 (神奈川県横浜市)

子ども達はお話に入り込み、手拍子や応援の言葉が自然に出たりして集中して観ることができました。内容もよく理解していたようで、「大事な話だったね」と言っていました。

これから始まる遊戯会に向け、声の大きさや話し方など刺激となり、意欲につながったと思います。

■ 白鳥保育園 (鹿児島県曽於市)

くりのきのおじいさんときつねのこんちゃんを通して、相手思いやる気持ちや信頼すること、自分ができることをすると相手にいやな気持ちにさせることなどが、随所に織り込まれており、子どもの心に素直に響いたのではと思います。

自我が芽生える年代の子ども達は友達とのトラブルが多いので、とてもよい作品だったと思います。

おだんごばん

■ 大島保育所 (和歌山県東牟婁郡串本町)

紙芝居と人形劇の二つのお話、最後までわくわくしながら観ました。大人が観ていても話の中に引き込まれていき、「まるで子どもに帰ったように観てしまった」と保護者の方の感想がありました。子ども達も人形劇を観るのが初めてで緊張して

いましたが、終わったあと「おもしろかったね！」「おだんごばん食べてみたかった」といろいろな話をしながら、劇の役になって盛り上がっていました。

■ 南総持寺保育園 (大阪府高槻市)

乳児クラスの子どもも含め、全園児が1時間という長時間をとっても集中して楽しませていただきました。笑いあり、歌の参加あり、ストーリーの構成もよく、飽きることなく見る子ども達でした。

エプロン人形というものの演技を初めて見せていただきましたが、人形の動きプラス演者の方の表情、動きが役になりきっていました。男性の方の女性を演じる所作の美しさにも見入っていました。プロの方々の演じ方から学んだことを日々の保育に活かしていきたいです。

こべー！ ドードー

■ 育英義塾幼稚園 (沖縄県那覇市)

3人で一つの物語をつくりあげること感動しました。子ども達も何か感じてくれたと思います。環境問題については年長と年中の一部は理解できると思いますが、年少はなかなか難しいでしょう。しかし、各クラスで子ども達と話をしながら深めていきたいと思っています。そういう意味ではよいきっかけになったと思います。

■ ひまわり保育園 (宮崎県小林市)

子ども達にわかりやすかったの、最初から最後まで集中して観ていました。楽しい音楽やリズムカルな動きの中に笑いもあり、めりはりのある構成で楽しく観ることができました。

その中に自分達に大切にしたいことも含まれており、どうするべきか考えさせられました。楽しい時間を過ごすことができ感謝しています。

■ さとのもり保育園 (鹿児島県薩摩川内市)

テーマとしては、少し難しいの

養日土曜の午後を割き！ しかも受講料を払い学ぼうという姿勢に、心からの敬意と尊敬の念を抱いた。

みんなわまつりには、友情参加として、熊本のびつかりぶらざーずが腹話術で「彦一とんち話」を、山梨の子ども文化研究会がパープサートで「宝じまん・大きなかぶ」を上演し、花を添えてくれた。すぎのこは人形劇「かもとりごんべえ」で特別参加。講師の上田順一先生・下西勝彦先生を始め、舞台監督・音響・照明・広報・写真・映像と、多くの方々のご支援ご協力を得てつつがなく終了する事が出来た。心から感謝の意を表します。有り難うございました。

人形劇講習会

長崎県平戸市の木ヶ津文庫『絆』さんにて、人形劇講習会を行いました。普段実際に操作をしているのは障がいのある方々で、今回は指導されている先生方を対象とした講習会でした。

台本から人形はもちろん、舞台背景や演出も試行錯誤しながら自分達でできているとのことと、実際に劇をしている映像を見せていただきました。

演目は「赤ずきんちゃん」。それを見ながらすぐに改善できる点を一つ一つ説明させていただき、その後台本ととっても可愛らしい手作り人形（特にオオカミは迫力もありながら愛嬌もあって、とってもよくできてい

平成28年度「すぎのこ巡回公演」上演地域

地域	1学期	2学期	3学期
北海道	おだんごばん		
東北		そっくりのくりのき	
関東	わらしべ長者	わらしべ長者	わらしべ長者 おだんごばん
信越・北陸	そっくりのくりのき		
東海・近畿			そっくりのくりのき
中国・四国		ももたろう	ももたろう
九州	ももたろう	おだんごばん	わらしべ長者 そっくりのくりのき
沖縄		わらしべ長者	

ました！）をお借りして、すぎのこメンバーで実際に動かして見せて、間の使いや台詞の抑揚、振り向きや歩きなどの動き、人形劇ならではの人形の見せ方など、ちょっとした「コツ」を紹介しながら、先生方にも交代で実演していただきました。「なるほど」「この方がわかりやすい」「そうだったのか」との

も楽しい時間を過ごすことができました。帰り際、「近くに來たら声かけてくださいね」と言っていた、ととてもうれしかったです。こういった人形劇を通してお付き合いや、交流の輪がもっともつと広がって、一人でも多くの方に人形を身近に感じていただければ幸いです。（白石高章）



では...と思っていたのですが、シンプルな作りで地球環境のこととか、とぶ、勇氣など、小さな子ども達にも伝える努力をしてくことが大事だと実感させられました。

ねずみの嫁入り

■山吹保育園（群馬県安中市）

「3びきのこぶた」は、子どもに問いかけなどもあってわかりやすく、紙芝居のようにめくっていくものだったのでとても見やすかったです。「ねずみの嫁入り」は人形がたくさん出てきて、太陽や雲、風なども大きくインパクトがありました。舞台の前で人形が動くこともあり、子ども達は大喜びでした。

■八幡保育所（東京都府中市）

始めの音楽が流れた瞬間から、子ども達はすぎのこさんの世界に引き込まれていきました。劇の合間のゲーム、ストレッチもとても喜んでいました。息子達は、帰り道ずっとゲームの真似をして遊んでいました。0歳児も泣くことなく、大人も楽しめる劇でした。

先生方から、「ねずみのお嫁さんの顔を見てみたかった」という

お声もありました。子ども達や保育所への気配り、配慮もとても感謝しております。（保護者会役員さまからの感想）

かもとりごんべえ

■第四保育所（群馬県渋川市）

子ども達の喜ぶ姿が、印象的でした。「かもとりごんべえ」が頭の上を飛ぶ様子が、印象に残ったようです。

■あさひ保育園（埼玉県日高市）

声かけや言葉等も、子ども向けで、とても上手でした。引きつける力は、さすがといったところで、職員一同、とてもよい刺激、参考になりました。難しく、あまりなじみのない昔話でしたが、子ども達の心に残った、とてもよい観劇でした。

ほんわか劇場

■白菊幼稚園（東京都世田谷区）

かくれんぼのシーンは大好評でした。やさしいライオンも悲しく



▲福岡県宗像市野ばら保育園より



▲福岡県宗像市野ばら第二保育園より

届けするために出発します。かたや制作の私は、1年を通して稽古場にいるのですが、実は稽古場のある埼玉県飯能市は、比較的都心に近い割に、山や川に囲まれた自然豊かな土地なのです。近隣の県からも観光客が多く訪れたり、ドラマや映画の撮影も行われたりと、魅力のある場所です。

なかでも、明治天皇が登られたことから名付けられた天覧山、そしてヤマメが多く生息している名栗川が有名で、なかなかの風光明媚な景色であり、四季を楽しめる

場所となっています。

そんな自然の中にあるすぎのこ研修センターでは、毎年恒例の無料観劇会を4月24日（日）10時から開催致します。人形劇4本を上演予定で、お茶とお菓子をご用意して皆さまをお待ち申し上げております。詳細やご質問等がございますたら、すぎのこ飯能研修センターまでお問い合わせください。

北海道から沖縄の皆さま、もしも東京方面へお出かけの予定がございましたら、ぜひ飯能へ遊びにいらしてください！（福島亜紀）

制作をよ

一学期が始まります。学校やお仕事をしている方々は、お正月より新年度の方がなにかと忙しいかと存じます。幼稚園や保育園の先生方も走り回るような忙しさで、4月こそ「師走」という言葉がびっぴりではないでしょうか。

毎年新緑の季節になると、すぎのこの俳優達は、北海道、首都圏、北陸、九州と、全国に人形劇をお

新作「ももたろう」



新作「ももたろう」の製作・演出にあたって

(浅野茜子)

この部分の部分を大切に描き出しました。主人公のももたろうは、活気にあふれ、希望に満ちた、まさに「わんぱく」な子どもです。大きな夢を抱き、仲間と共に勇気を出して行動するももたろう達の姿を、現代の子ども達に届けたい。

すぎのこの巡回公演は、一つの作品を、北海道から沖縄まで4年かけて上演する。そして毎年、春に新作が誕生する。わくわく、ときどきする時期である。

今回の「ももたろう」は、巡回公演をしている時に、アンケートをとり、先生方の希望が一番多い作品...ということもあり、制作会議で検討し、理事会で決定した。

製作・演出を担当するにあたり、まず、脚本をすぎのこの劇団員であり、以前、「どろぼうのなみだ」「たのきゅうのうわばみだいじ」「にゃん吉の宝物」、すぎのこの製作・販売して好評の影絵紙芝居12作品の脚本を手掛けた、浅野茜子に依頼した。

第一稿が出来上がってきた。その

これは、作者の思いが、このように書かれていた。

『ももたろう』は、わんぱく！すぎのこの「ももたろう」の人物像は、すぎのこの理想の子ども像「わんぱく」としたい。すぎのこの理想の子ども像「わんぱく」としたい。すぎのこの理想の子ども像「わんぱく」としたい。

は、「心身ともに健康で、好奇心が強く、行動力にあふれ、創意性に富む、心の優しい子」である。『同感である。これで、主人公「ももたろう」の人物像が決まった。犬のころ、猿のもん吉、キジのケン...それぞれの性格もなかなか面白い。

人形・美術は、アトリエ「ドッポ」、音楽は、川端清氏に依頼し、間もなく出来上がってくる。

季刊紙「すぎのこ」4月号が発行される4月1日には、稽古がスタートする。今は、どのようにすぎのこの「ももたろう」を子ども達に伝えるべきか、演出プランを考えているところである。

これから4年間、わんぱくな「ももたろう」は、全国各地を飛び回る。観た子ども達も、どんな感想を持ってくれるか、今から楽しみだ。ご期待ください！

(下村あきら)

「とべ! ドードー」を振り返って

星野 翼



子ども達が卒業して、うれしさと少しの寂しさを残しながら、「とべ! ドードー」という作品も皆様とお別れすることになりました。

私にとって「ドードー」という作品は、初めて班の責任者を任されたとても思い出深い作品になりました。旅の初めはとても悩み、何かするたびに、後悔して反省して、ずっとうじうじしながら旅をしていました。しかし今は、あまり悩まなくなった気がします、うじうじしなくなったと思います。公演は自分一人でやっているのではなく、みんなで作るものだ、一年を通してやっと分かったからです。

これからまた新しい作品を子ども達に届けるため、喜んでもらえ、大きくなって心に残り続けるような作品をみんなで作っていったら、うれしいです。

皆様、「とべ! ドードー」をありがとうございました。

新人紹介



吉田 薫

今年1月からすぎのこ研究生となりました。座右の銘は「笑う門には福来る」みんなの満開の笑顔を見るために、私自身が笑顔の種に、風に、光になれるよう頑張ります! 「一緒にガハハと笑い合えたら幸せ!」



石澤 泰裕

この度、すぎのこの一員に迎えていただきました。人間の役よりも鬼や怪物の役の方が得意なので、皆様の前にはそういった形で現れることが多いかも知れませんが、その時は怖がらずに、どうぞよろしく願います。

公益財団法人 JKA補助事業



平成27年度、当法人は公益財団法人JKAより補助を受け、「保育者のための人形劇教室」を全国各地で計80回行い、好評をいただきました。

ご参加いただいた方々、及び公益財団法人JKAの関係者の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて心より御礼申し上げます。今後とも全国各地の子ども達、保育に携わる皆様のお力になれるよう精進してまいります。

(白石 高章)

講習会(回数)

- 茨城(3) 栃木(2) 群馬(3)
- 埼玉(5) 東京(4) 千葉(4)
- 神奈川(3) 長野(3) 新潟(1)
- 石川(1) 静岡(3) 滋賀(1)
- 三重(3) 大阪(1) 和歌山(3)
- 京都(1) 兵庫(3) 島根(1)
- 広島(2) 山口(1) 愛媛(3)
- 香川(3) 徳島(4) 高知(5)
- 福岡(3) 長崎(2) 佐賀(2)
- 大分(3) 熊本(1) 宮崎(2)
- 鹿児島(4)

(計80回)

発声講習会

発声講習会のテキストの例文は、発音が困難で且つ、似通った言葉を覚えて並べているので、読むのが難しい。だからと言って、決して早口言葉として読むことを目的としてはいい。あてず、つかえない自分のペースで、一つ一つの言葉を丁寧に読んでいくことで、イメージは膨らむ。伝える上で大切なことというのは、どんな

場合でもシンプルである。絵本の読み聞かせに役立つような講習会をして欲しいという要望があった。子どもが物語に触れる機会は多いほど望ましい。僕等の人形劇だけでは機会が足りない。先生方の声で、たくさんのお話を子ども達に届けてもらえればありがたいと思う。(野見山大輔)



活動記録(平成28年1月~3月)

- 1/6 第三期全国巡回公演開始
- 1/30 人形劇講習会開催
- 2/13 14 みんなまつり開催
- 2/16 於・横浜人形の家「あかい」つ劇場(神奈川県横浜)
- 2/22 於・わくわく紫原中央保育園(鹿児島県鹿児島市)
- 2/24 第9回定例理事会
- 2/24 於・当財団事務所
- 3/6 影絵紙芝居の作り方講習会開催
- 3/25 於・げんき保育園(高知県高知市)
- 3/30 人形劇講習会開催
- 3/30 於・小山保育園(東京都町田市)
- 3/30 第三期全国巡回公演終了